

だいたず大好き！子どもたちの食育体験

- 平成25年2月、直売所「ベルファーム農家市場」に出荷する生産者が「ベル農(の)会」を発足。
- 学校給食への地元野菜の供給をはじめたところ、学校から農業体験への関心が高いことを聞く。
- 大豆は味噌や豆腐といった日本型食生活に欠かせない身近な食品の原材料であるが、大豆の作業は機械化されていてほとんど体験する機会はない。そこで大豆を中心とした教育ファームを計画。
- 地元野菜を供給している小学校に声をかけ、親子を対象に播種、草刈、収穫、味噌作り等を行った。
- 参加した親子は、農業への理解を深めるとともに、日本型食生活や食文化への関心も高まったようだ。



【取組の内容】

地域の小学生親子を対象に、大豆を中心とした農業体験等を実施。参加した親子(のべ198名)は、生産者や野菜ソムリエと交流しながら、①播種、②草ぬき・観察会、③枝豆収穫、④大豆収穫、⑤味噌作り、⑥おせち作り(黒豆煮)、⑦節分豆まき(大豆煎り)・恵方巻き作りを体験した。



収穫は機械と手作業の両方を体験。竹を使って株をパンパン叩くと、白い大豆がコロコロ。みんな夢中でした。



いよいよ待ちに待ったお味噌づくり。丸めた味噌ボールを投げ入れます。「おいしくな〜れ」を忘れず言いました。

【取組の成果】

- 参加した親子からは次の意見が寄せられた。
- ・まいた大豆の葉は大きいのに花は小さくてかわいかった。
 - ・まだできていない黒豆は紫でびっくり。不思議がいっぱい。
 - ・大豆の収穫は固くて大変。でも大豆を出すのは楽しかった。
 - ・少しの豆からたくさんの豆ができてすごい。
 - ・お味噌を給食で食べるのが楽しみ。
 - ・自分で作ったからおいしかった。家でも作りました。
 - ・アクシデントもあり、うまくいかない部分もあり、学ぶことが多くあった。

これらの意見から、大豆を通して命や食の大切さを感じると共に、農業と食文化、伝統行事との関わりについても考える機会となった。

事業内容は報告書「だいたず大好き」にまとめ、地域の小学校や教育関係者等に配布しました。

